

留萌きらめき舞台物語

#7 西田 龍さん



留萌千望高校3年生

にしだ りゅう
西田 龍さん

陸上競技全道大会のやり投げで優勝

「インターハイでも好記録を」

留萌千望高校3年生の西田龍さんは、今年6月に室蘭市入江運動公園陸上競技場で開かれた第69回北海道高等学校陸上競技選手権大会の男子やり投げで、57メートル21の記録を出して優勝し、インターハイ（全国大会）の出場権を獲得しました。

男子やり投げには、全道各地の地区予選を勝ち上がった55人が出場しました。西田さんは、予選の1投目で標準記録49メートルを上回る53メートル09の好記録を出し、決勝に進出しました。決勝では、3投目で自己ベストを1メートル51上回る自己新記録を出して初優勝を決めました。

西田さんは「全道ランキング

で1位の成績だったので、そのまま調子を落とさずにいこうと考えていました。大会当日は、自分でも調子が良いと感じていて、決勝では1投目から自己ベストを超える記録を出すことができました。さらに良い記録を目指し、その後の競技に臨みました。全道優勝を目標に練習してきたので、優勝できてうれいです」と振り返ります。

スポーツの魅力について「小学生的ころから野球をしてきたので、スポーツに打ち込むことは楽しいと感じます。やり投げを始めたのは高校生になってからですが、やりを投げたときに『これは記録が伸びる』と、手応えを感じられた瞬間が楽しい

ですね」と話してくれました。全国大会は、8月1日(月)に岡山県総合グラウンド陸上競技場で開かれます。全国大会に出場するのは、昨年に続いて2回目となります。「全道大会で競った他校の友人や応援してくれるみんなのためにも、自分のベストを尽くしたいと考えています。良い記録が出せるよう頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

◇
西田龍さんの活動などについては、左記へお問い合わせください。

問 留萌千望高校
42-2474



▲留萌千望高校のグラウンドで練習に励む西田さん